

令和5年度 早苗幼稚園自己評価（担任 17 名）

<園の自己評価>

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

	A	B	C	D	E
1. 保育理念・保育感					
1 保育者一人一人が園の保育理念・保育方針を理解している	1 人 (5.9%)	7 人 (41.2%)	8 人 (47.1%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)
2 一人一人の主体性を大切にされた保育をしている	4 人 (23.5%)	9 人 (52.9%)	4 人 (23.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3 保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	4 人 (23.5%)	9 人 (52.9%)	3 人 (17.6%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)
2. 保育計画・指導計画					
1 保育計画に基づき、子どもの発達や姿を把握して計画を立てている	2 人 (11.8%)	13 人 (76.5%)	2 人 (11.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 未満児は、現在の姿を理解し一人一人に応じた個別計画を立てている	3 人 (17.6%)	8 人 (47.1%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	6 人 (35.3%)
3. 食育					
1 栄養士・保育者が連携し、会議で意見を交わしよい給食になるよう努めている	4 人 (23.5%)	7 人 (41.2%)	4 人 (23.5%)	1 人 (5.9%)	1 人 (5.9%)
2 食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している	7 人 (41.2%)	9 人 (52.9%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (5.9%)
4. 保護者支援					
1 保護者と良好な関係を作ろうとしている	5 人 (29.4%)	10 人 (58.8%)	2 人 (11.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	2 人 (11.8%)	10 人 (58.8%)	5 人 (29.4%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3 保護者の状況を理解し、個人情報保護している	5 人 (29.4%)	10 人 (58.8%)	2 人 (11.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
4 子育てのパートナーとして保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	2 人 (11.8%)	11 人 (64.7%)	4 人 (23.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
5. 子育て支援					
1 地域に開かれた園として、定期的に子育てをしている親子をうけいれている	4 人 (23.5%)	10 人 (58.8%)	3 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 子どもの心身の発達や育児不安について、相談できるようにしている	2 人 (11.8%)	12 人 (70.6%)	3 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

<保育者の自己評価>

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

	A	B	C	D	E
1. 保育計画					
1 園の保育目標を理解して、年間計画を立てた	0 人 (0.0%)	14 人 (82.4%)	3 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 めざす「子ども像」を実現できるような保育計画を立てた	1 人 (5.9%)	13 人 (76.5%)	3 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2. 保育実践					
1 園の保育目標を理解して、実施しようと努めている	1 人 (5.9%)	14 人 (82.4%)	2 人 (11.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 めざす「子ども像」を意識して保育に取り組んでいる	1 人 (5.9%)	12 人 (70.6%)	4 人 (23.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3. 環境づくり					
1 子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	3 人 (17.6%)	10 人 (58.8%)	4 人 (23.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	5 人 (29.4%)	7 人 (41.2%)	4 人 (23.5%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)
4. 子どもへの関わり					
1 一人一人を大切に関わっている	5 人 (29.4%)	11 人 (64.7%)	0 人 (0.0%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)
2 一人一人の子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっている	3 人 (17.6%)	10 人 (58.8%)	4 人 (23.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
5. 保護者対応					
1 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	4 人 (23.5%)	11 人 (64.7%)	2 人 (11.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	4 人 (23.5%)	7 人 (41.2%)	5 人 (29.4%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)

<改善が必要な部分の対策>(自由記入)

- ・こども園なので、もっと異年齢の関わりを増やしたい。
- ・保育士1人1人のメンタルケアが必要。
- ・働く保護者への気持ちの寄り添いがもっとできるとよい。

～ 総 評 ～

令和4年度は幼稚園も教職員もコロナ禍に直面する中で日々緊張感を強いられていたが、令和5年度はそうした制約が解除となり以前の日常が戻ったこともあり、コロナ禍でお互いに我慢を続けていた反動もあるのか、全体的に一部改善が必要と感じるような回答が増えている。

保育士自身の自己評価についても令和4年度に比べると、一部改善を必要とするとした回答が若干増えている。コロナ禍での制約が前面にあった頃に比較し、保護者からの要望も多岐に広がり始めて、幼稚園としても保護者対応に苦慮するケースを何度か経験し、コロナ禍との違いを感じる事が多くなった。発育面に問題を抱える園児も年々増加傾向にあり、同様に身勝手な言動をしたり子育てに後ろ向きな保護者が以前よりも顕著になっている。

ワンオペで子育てをしている母親も多く、心のゆとりを保って貰えるように支援を続けたい。